



平成26年2月14日

各 位

会社名 味の素株式会社  
代表者名 取締役社長 伊藤 雅俊  
(コード番号 2802 東証第一部)  
問合せ先 財務部長 小林 幸彦  
(TEL. 03-5250-8161)

平成26年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年11月6日に公表した平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	1,032,000	68,000	74,000	48,000	77.93
今回修正予想(B)	1,023,000	62,000	68,000	43,000	70.01※1
増減額(B-A)	△9,000	△6,000	△6,000	△5,000	—
増減率(%)	△0.9%	△8.8%	△8.1%	△10.4%	—
(ご参考) 前期実績(平成25年3月期)	984,967 ※2	71,232	77,167	48,373	74.35

※1) 本日、適時開示しました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」にありますとおり、自己株式の取得を決定いたしました。1株当たり当期純利益は、自己株式の一部を取得したものと計算しております。

※2) 平成26年3月期よりコーヒー・油脂事業等の総発売元取引について、売上高及び売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更しており、上記（ご参考）の前期実績の売上高は、組替後の数値を記載しております。

## 2. 修正の理由

平成25年11月6日公表の業績予想に対して、今回の営業利益の修正は、主として飼料用アミノ酸事業の販売価格の下落が予想以上に長期化したこと、加えて冷凍食品事業において昨年12月末以降の市場悪化に伴い販売数量が減少し、為替の影響及び原材料価格の上昇も想定以上であったこと、などによるものです。

一方、海外食品事業におけるコンシューマーフーズは、アジアを中心に好調に推移しており、また飼料用アミノ酸以外のバイオ・ファイン事業も予定通りの進捗です。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高、各段階利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、平成25年5月8日に公表した配当予想につきましては、修正はありません。

(注) 上記業績予想は、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上